

クライミングウォールの  
体験ができます。



わがすぎ

第133号  
平成25年3月発行



p.2 青少年育成事業

p.3 ○中学生のメッセージ

p.4 児童健全育成事業

p.5 ○「みえこどもの城」HPリニューアル  
ウォールクライミングを体験してみよう!

児童健全育成拠点事業

○つかえるレシピ  
つくってあそぼう(スライド万華鏡)

p.6 児童健全育成事業

○「第8回MAPクライミング選手権」を開催  
○「第7回MAPみえこどもの城プラネタリウム  
解説コンクール」を開催



p.7 青少年育成事業

○三重こどもわかもの育成財団表彰  
(内閣総理大臣表彰/「子ども若者育成・子育て支援功労者表彰【ご紹介】」)  
○こどもわかもの育成支援のための地域研修会  
○こどもわかもの地域活動支援活動



p.8 青少年育成事業

○「家庭の日」絵画・ポスター展入選作

公益財団法人 三重こどもわかもの育成財団

中学生のメッセージ2012(第34回少年の主張三重県大会)最優秀賞

# 「交通事故を起こさない」

伊勢市立沼木中学校 三年 <sup>やま くち</sup>山口 <sup>あや か</sup>彩華さん

私は去年、大切な親友を事故で失いました。それは本当に突然のことでした。私と亡くなった親友はその日の朝、事故の直前まで、いつもと同じように一緒に自転車をこいで走っていました。もう少しで学校というところで、親友は「先に行くわ。」という元気な声を残して、私の前を走って学校へと向かいました。そのあと、突然の大きな音に私はびっくりして立ち止まりました。その直後です。私の目の前のガードレールに車が突っ込んだのは、私は何が起こったのか分かりませんでした。とにかく私は目の前の車の人を助けなければと声をかけました。すると思いもよらぬ答えが返ってきたのです。「自転車の子は大丈夫!?!」

その言葉を聞き、私は親友がこの事故に巻き込まれたんだと悟りました。それから先生や大人の人が忙しく動き、親友を助けようとしていました。私は先生の指示で学校へ行きました。しかし、それからずっとあの一部始終が頭から離れず、授業を受けることができませんでした。ただ親友の無事を願うだけで。

その日の下校前、私たちは、一番聞きたくない言葉を告げられました。そのときは何が起きているのかわからず、ただ涙があふれるばかりでした。私の周りでも同じように悲しみに包まれている人がたくさんいました。この突然の恐ろしい事故は、多くの人に思いもよらない大きな悲しみをもたらしました。

最近、私はニュースを見ていて、交通事故の話題が、明るい話題よりもずっと多いと感じます。私は親友を失うまで、ニュースを見ても他人事のように感じていました。しかし、親友を失ってからは「ああ、この事故でも悲しんでいる人がたくさんいるんだろうな。」と考えるようになりました。一日に何件も報道される交通事故のニュースを聞くたびに、私はいつも「なぜ同じようなことがくり返し起こるのだろう。気を付ければなくなっていくものではないのだろうか。」と考えます。

もちろん、事故を起こそうと思って自動車に乗る人はいないと思います。けれど、なぜ人は気を付けようという意識をなくしてしまうのでしょうか。飲酒をして運転してしまうと事故を起こす危険性がとても高くなるので法律でも禁止されています。それでも飲酒運転をする人がいるというのはなぜでしょうか。

私はそういう人は本当の事故の恐ろしさ、悲しさを知らないんだと思います。以前の私のように他人事ではないのだと思います。事故の被害者はもちろん、加害者になる恐ろしさは、体験しないと本当には分からないのは当然です。しかし、それを分からないで終わらせてはいけないと思います。

私たちの学校では、あの恐ろしい事故のあと、速度減速を促す看板が設置されたり、毎朝先生方が立ってくれたりしています。ですがあの事故が起こった場所は見通しが悪く、危ないと思うことが以前にも何度かありました。けれど安全のために対策をとってほしいということを周りの人や先生に言わなかった私たちも意識が低かったのではないかと思います。もっとしっかり交通事故に対して考えておけばよかったと思います。

一人ひとりが、交通事故は他人事ではないという意識を持つ。そうすれば少なくとも、スピードの出しすぎや飲酒運転などによる事故は防ぐことができると思います。何よりも、「自分は事故を起こさない。」という強い気持ちを持つことが大切です。

私たち一人ひとりが意識を変えて、この世界から交通事故で悲しむ人がいなくなるようにしていかなければならないと私は思います。



## 中学生のメッセージ2012(第34回少年の主張三重県大会)報告

平成24年8月26日(日)、松阪市の松阪市民文化会館において、中学生のメッセージ2012(第34回少年の主張三重県大会)を開催しました。本年は県内73校から11,077名の応募があり、選ばれた14名が本大会で主張を発表しました。

内容は、将来の夢、東日本大震災に関すること、日本語の使い方、ケイタイの活用法、ボランティア活動、増税問題、交通事故に関することなど、どの発表も心に響くすばらしい発表でした。



司会者の様子

また本大会では、松阪市立殿町中学校・松阪市立西中学校による司会・受付・誘導等の運営協力や松阪市立鎌田中学校吹奏楽部による実践発表など大会運営にご協力いただきました。

なお、平成25年度は、紀北地区(尾鷲市・紀北町)の市町民会議の協力により、8月25日(日)、紀北町立東長島公民館で開催されます。



受付の様子



松阪市立鎌田中学校吹奏楽部による実践発表の様子



表彰式の様子

## 中学生のメッセージ2013(第35回少年の主張三重県大会)作品募集

「中学生のメッセージ(少年の主張三重県大会)」は、中学生が日ごろ感じていることや考えていることを広く県民に訴えることにより、青少年が自分の生き方や社会との関わりを考え、また、青少年に対する県民の理解・関心を深めることを目的として実施します。昨年は県内73校から11,077人の応募があり、その中から14人の方々に大会で発表していただきました。本年もたくさんの応募をいただきますようお願い致します。

- ◆応募資格 県内の中学生及びそれに相応する学籍又は年齢にあるもの
- ◆日時 平成25年8月25日(日) 13:00~16:10(予定)
- ◆会場 紀北町立東長島公民館 大集会室  
(北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島915-2)
- ◆提出先 当該地域の青少年育成市町民会議まで
- ◆提出期限 平成25年6月7日(金)

※応募方法など詳細については当財団ホームページを参照してください。作品応募者全員に参加賞を贈呈します。また、当事業に対して協賛していただける企業・団体を募集しています。



# 「みえこどもの城」の ホームページを リニューアルします!



前回の「わかすぎ第132号」でご案内した“みる!つくる!あそぶ!”のいろいろな体験プログラムができる「みえこどもの城」。どんな体験ができるのか、交通アクセス、ご利用案内などはホームページで確認することができます。ホームページをより見やすく、分かりやすくするために2013年4月よりリニューアルします。今回は、新しいホームページについてご案内します。

まずは、「みえこどもの城」**検索** してください。

## Point 1

Q&Aをつくりました!

お客さまからのご質問をQ&Aにまとめました。

## Point 2

館内案内パンフレットや  
各種イベントチラシが  
ダウンロードできる!

今まで、館内でしか手に入られなかったチラシ等がHPからダウンロードできるようになります。

## Point 3

行きたい日の  
体験プログラムスケジュールが  
ひと目でわかる!

イベントカレンダーの行きたい日をクリック!その日一日の体験できるプログラムのスケジュールがわかります。また、MENUからは「TODAYプログラム」「WEEKLYプログラム」「プログラム一覧」を見ることができます。

## Point 4

みえこどもの城からの  
お知らせをチェック!

駐車場の混雑日などは「お知らせ」をご確認ください。

## Point 5

事前に申込が必要な  
体験プログラムについては  
ホームページから申し込みが  
可能に!

事前申込の体験プログラムについては入力ホームができました。

新しくなったホームページを見て  
いろいろな体験プログラムに  
参加してみよう!



オリジナルキャラクター  
“しろぼ”

# つくってあそぼう!! スライド万華鏡



■対象年齢:6歳～ ■作業時間:約30分  
■用意するもの

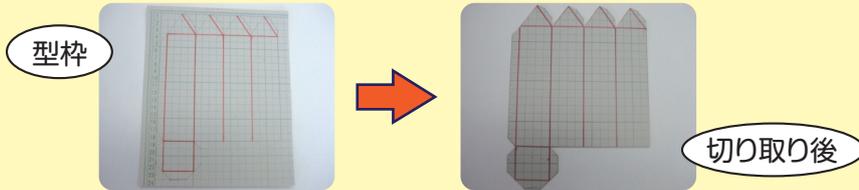
- 型を書いたカラー方眼紙・・・1枚
- カラー工作用紙・・・1枚
- 三角に切ったミラーペーパー・・・4枚
- はさみ
- 両面テープorセロテープ
- マジックペン

とてもキレイに見えるよ!  
作ってみてね\*\*\*  
チャーレより

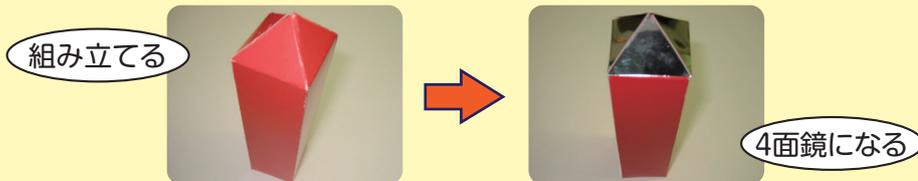


つくり方

- 1 型を書いたカラー方眼紙を、はさみで外枠を線通りに切る。



- 2 両面テープかセロテープを使い、組み立てます。  
その後、ミラーペーパーを4面全てに、両面テープで貼っていく。



- 3 カラー工作用紙に絵や模様を描く。  
その模様が内側になるように折り、両面テープで貼って完成。



あそび方

上下にスライドさせ、上から見て模様の変化を楽しみます。



## ウォールクライミングを体験してみよう!

2Fプレイランドにあるクライミングウォールは子どもに大人気!  
まずは、初心者向けの「トラバース(横移動)」にチャレンジしてみよう!体験時間が決まっているので、ホームページでチェックしてみてくださいね。

Check

- ★うわぐつを必ずご持参ください。
- ★小学生以上から体験可能。14歳未満の方は保護者の付添いが必要です。



## 「第8回MAPクライミング選手権」を開催

平成25年1月26日(土)、三重県立みえこどもの城・2階プレイランドにて「第8回MAPクライミング選手権」が行われました。プレイランドには、高さ7メートル、幅14メートルのクライミングウォール設備があり、主に小学生以上の子どもたちが日々クライミングにチャレンジしています。その一年の集大成として毎年大会を開き、普段の練習の成果を発揮してもらっています。

今大会では、ビギナークラス・5名、ミドルクラス・4名、ユースクラス・14名の合計23名が出場しました。大会は予選・決勝という内容ではなく、午前ボルダリング、午後トップロープを行い、その総合得点で順位を争い合うものでした。審査員にはJAPANユースクラスのコーチ経験のあるKO-WALL奥村晃史さんをお願いいたしました。入賞者は下記のとおりです。

### ビギナークラス

(チャレンジカード挑戦中の小学生)



優勝：西山 綾菜さん  
2位：宇戸平凌莞さん  
3位：後藤 万凜さん  
入賞：寺本 燦さん  
入賞：西浦 良さん

### ミドルクラス

(チャレンジカードを修了の小学生)



優勝：赤木 大輝さん  
2位：赤木 彩輝さん  
3位：中川 綾さん  
入賞：宇戸平莞爾さん

### ユースクラス

(チャレンジカードを修了の中学生以上)



優勝：赤木香代子さん  
2位：森 吉弘さん  
3位：豆田 孝之さん  
3位：中川 泰久さん

## 「第7回MAPみえこどもの城プラネタリウム解説コンクール」を開催

平成25年2月10日(日)「第7回MAPみえこどもの城プラネタリウム解説コンクール」が3階ドームシアターにて開催されました。このコンクールはプラネタリウム解説やプラネタリウム番組制作に新風を吹き込む個性と才能にあふれた人材を見出し、活躍の機会や場の提供等の支援を行うとともに、コンクールを通して社会一般のプラネタリウムへの関心を高めることを目的に平成16年度より始めました。



当日は予選を勝ち抜いた8組11名がプラネタリウムでその技を競い合いました。

審査員には子どもの本専門店メリーゴーランド店主・増田喜昭さん、明石天文科学館学芸員・井上毅さん、あさだ考房代表・浅田英夫さん、三重県生涯学習センター所長・河原孝さんをお願いいたしました。またゲスト講演として“デジタルグラフィックアーティスト”でプラネタリウム番組「銀河鉄道の夜」の製作者であるKAGAYAさんをお招きし「星空の旅、終わらない夢」というテーマでお話をいただきました。

このコンクールは残念ながら今回が最後となりました。第1回よりこれまでに全国から120組180名の方に参加いただきました。

### 本選大会結果

#### ■かたりべ部門

最優秀賞：日比野里奈さん・山口俊史さん「未来から」  
優 秀 賞：佐藤由香さん・島田成二さん「真昼の星」  
入 選：瀧本麻須美さん・鈴木孝典さん「帰ってきた「真夜中の夢」」  
入 選：宮野 彩さん「小さな星の先生」

#### ■解説部門

最優秀賞：小山里実さん「星のかけら～星と人間のつながり～」  
優 秀 賞：廣瀬久実さん「星のならびとひとの想像力」  
入 選：中林あゆみさん「みんな宇宙の中」  
入 選：大野敦子さん「架け橋の星空」

## 青少年育成事業

平成25年2月28日(木)、三重県立みえこどもの城にて行われた三重県青少年育成市町民会議連絡会において、子ども若者の育成支援に関し、特に顕著な業績がある方々を表彰しました。

また、同連絡会席上では、平成24年11月21日(水)に行われた内閣府の「平成24年度子ども若者育成・子育て支援功労者表彰」で、内閣総理大臣表彰を受賞された、紀宝町青少年育成町民会議、門 賢(かどさかし)会長のご活躍を紹介させていただきました。

### 三重こどもわかもの育成財団表彰

(敬称略)

#### ◎個人／<sup>あき やま</sup>秋山 <sup>のり こ</sup>則子(玉城町)

- ・ 育成活動
- ・ 家庭健全化活動

#### ◎団体／鳥羽ロータリークラブ(鳥羽市)

- ・ 育成活動
- ・ 環境浄化活動
- ・ 家庭健全化活動
- ・ 社会奉仕活動等



写真は中央は、秋山氏、左は、鳥羽ロータリークラブの東谷佳一会長です。

### 内閣総理大臣表彰受賞

(御紹介)

#### <sup>かど さかし</sup>門 賢(紀宝町)

《子ども若者育成・子育て支援功労者表彰》



写真は、地域での活動の一コマ

門さんは、「この賞は、地域の子どもたちからもらったものです」と、子どもたちとの関わりをいつも大事にしています。この賞の目的は「子ども・若者を育成支援する活動及び子育てと子育てを担う家族を支援する活動において顕著な功績があった企業、団体又は個人を顕著」することにあります。

### こどもわかもの育成支援のための地域研修会

(平成24年度は、7団体が実施しました。)

青少年の非行、子どもの安全確保等、今日の子ども若者を取り巻く現状や課題を認識するとともに、地域で活動する多様な人材を育成し、家庭・学校・地域等が一体となって、今後の青少年活動の推進を図ることを目的にしています。



紀南地区青少年育成市町民会議連絡協議会開催

### こどもわかもの地域活動支援事業

(平成24年度は、8団体に助成しています。)

この事業(漁業体験活動)は、漁業の大切さ、命の大切さを伝えることを目的としています。写真は、大紀町錦地区の漁業組合のみなさんにの協力のもと、さかな(鯖)のさばきかたを地域の女性から教わる小学生と保護者の方と、見守る町民会議の大西会長です。



大紀町青少年育成町民会議開催

児童の部 (小学生)

松阪市立阿坂小学校 6年 佐波 美来さん



「おじいちゃんのお誕生日」



知事賞

いなべ市立山郷小学校 2年 伊藤 誠人さん



「キャンプで川あそびをしたよ。」



理事長賞

松阪市立第四小学校 3年 中津 さくらさん



「海で遊んだよ」



理事長賞

生徒の部 (中学生)

セントヨゼフ女子学園中学 3年 船木 晶帆さん



「みんなとすごそう家庭の日」



知事賞

津市立久居西中学校 2年 小瀬古 深士さん



「家族でご飯を食べる意味」



理事長賞

セントヨゼフ女子学園中学校 3年 岩崎 有紗さん



「家族とたくさんの思い出を」



理事長賞

伊賀市立友生小学校 5年 関下 慶さん



「第3日曜日は家庭の日」



みえこどもの城 館長賞



展示の様子(3階回廊展示場)

平成24年11月20日(火)～平成25年1月6日(日)

本年度は、児童の部(430名)、生徒の部(40名)、合計470名の応募がありました。その内、審査対象になった210作品を「みえこどもの城」にて、平成24年11月20日(火)～平成25年1月6日(日)まで展示し、さらに来館者による人気投票で館長賞を選出しました。  
 奨励賞は、児童の部5名(伊藤拓海さん[1年]・米倉理央さん[1年]・関下穂さん[3年]・加藤百葉さん[4年]・中瀬陽介さん[5年])、生徒の部5名(楠原穂乃実さん[1年]・船木康佑さん[1年]・前田真彩さん[2年]・服部彩女さん[2年]・前倉七恵さん[3年])のみなさんです。